

2019 年 6 月 28 日

報道関係各位

三井不動産株式会社

「三井ショッピングパーク ららぽーとTOKYO-BAY」へのアクセス利便性向上 ららストリートに動く歩道を設置、6 月 28 日(金)より運用開始 デザイン刷新やデジタルサイネージ導入など周辺環境もリニューアル

三井不動産株式会社(本社:東京都中央区 代表取締役社長:菰田正信)は、「三井ショッピングパーク ららぽーとTOKYO-BAY」(所在:千葉県船橋市)とJR「南船橋駅」をつなぐ鉄道高架下の誘客路「ららストリート」に「動く歩道(水平エスカレーター)」を設置し、あわせて周辺の環境整備を行いました。

「ららストリート」は 2000 年の運用開始以来、「ららぽーとTOKYO-BAY」とJR「南船橋駅」をつなぐ鉄道利用で来館するお客様の主要なルートとして多くのご利用をいただいておりますが、今回動く歩道(水平エスカレーター)を導入し、施設へのアクセス利便性を向上させました。

あわせてシェルター(屋根)を設置することで、高架吹き抜け部分からの雨天時の雨懸かりに対応します。さらに、そのシェルターにはリアルタイムで館内情報をお届けするデジタルサイネージも設置、また高架橋柱のデザインをはじめ、「ららストリート」周辺環境も刷新し、ららぽーとのゲートウェイとしてのおもてなし感を演出します。

本リリースのポイント

- ① 鉄道高架下に動く歩道(水平エスカレーター)を設置
- ② シェルター(屋根)を設置し、雨天時にも対応
- ③ 高架橋柱のデザインを刷新、デジタルサイネージ導入など周辺環境をリニューアル



動く歩道の設置により、ららぽーとTOKYO-BAYは「経年優化」(時を更にするにつれて成熟し、更に価値を高めていく)の思想のもと、より便利で、より快適な施設になります。今後もららぽーとTOKYO-BAYは進化し続けることで、これまで以上にお客さまのニーズに応える施設を目指してまいります。

<添付資料 1>
ららストリート 施設概要

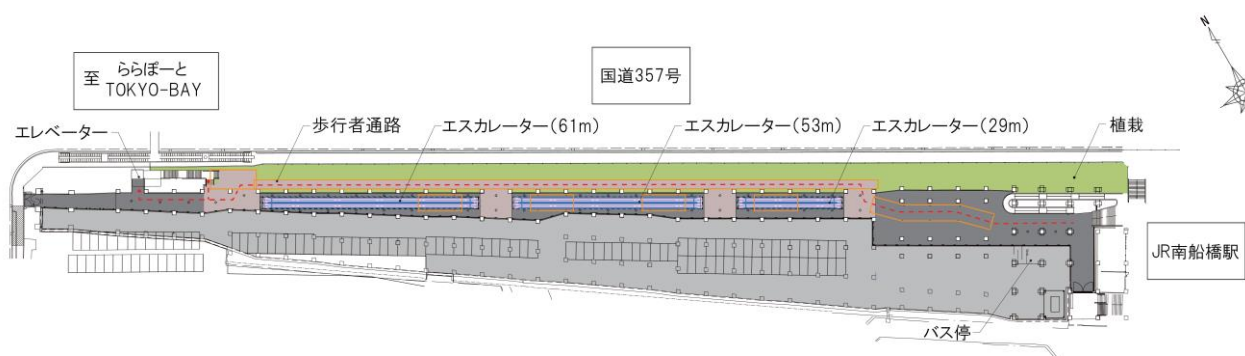
所在地	千葉県船橋市浜町2、若松1、若松2の一部
運用開始	2000年10月
敷地面積	約9,700㎡
全長	約295m
付帯設備	動く歩道(水平エスカレーター)3か所(61m、53m、29m)往復の計6基 シェルター(屋根)7か所 デジタルサイネージ14台(自立式2台含む)
交通	JR京葉線・JR武蔵野線「南船橋」駅徒歩1分
運営・管理	三井不動産商業マネジメント株式会社

※2019年6月28日時点の情報です。

【位置図】



【詳細図】(ららストリート全体図)



<添付資料 2>

三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY 施設概要

所在地	千葉県船橋市浜町2-1-1
開業	1981年4月
敷地面積	約171,000㎡
延床面積	約256,000㎡
店舗面積	約102,000㎡
店舗数	約440店舗
駐車台数	約7,000台
交通	JR京葉線・JR武蔵野線「南船橋」駅徒歩5分(無料送迎バス有り) 京成本線「船橋競馬場」駅徒歩10分(無料送迎バス有り) <バス> JR「津田沼」駅よりバス15分 JR「船橋」駅よりバス15分
営業時間	北館・南館・西館/10:00～20:00 ※金・土・日・祝日/休日は21:00まで営業 北館 1F～3Fハーバークリール 11:00～22:00 南館 3F ダイニングテラス 11:00～22:30 ※金・土・日・祝日/休日は23:00まで営業 ※一部、営業時間の異なる店舗がございます。 ※営業時間に変更になる場合がありますので、ホームページにてご確認ください。
運営・管理	三井不動産商業マネジメント株式会社
ホームページ	https://mitsui-shopping-park.com/lalaport/tokyo-bay/

※2019年6月28日時点の情報です。

【位置図】



<添付資料 3>

「三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY」の主な歴史

1981 年	「ららぽーと船橋ショッピングセンター(ららぽーと1)」開業 日本初・車来場に重きをおいた米国型ショッピングセンター(以下 SC)。 ダイエー・そごうの2つを核とした2核1モール形態。
1988 年	「ららぽーと2」増床 DC ブランドの誘致により、都市型 SC 機能を拡充。 他施設に先駆けてシネマコンプレックス等を導入し、エンターテインメント機能を強化。
1998 年	「ハーバーグリル」オープン 飲食店舗を質・量あわせて拡充(老朽化した飲食棟の建替え)。
1999 年	「ららぽーと2」リニューアル 渋谷 109 系・カジュアル衣料専門店などを導入することで若年層世代へのアプローチを図る。
2000 年	「ららぽーと3」増床 21 世紀の新しいライフスタイルを提案。団塊ジュニアと平成ニューファミリーをメインターゲットに、ショッピング・エンターテインメント機能、環境アメニティを一層強化。
2001 年	「ららぽーとウエスト」リニューアル 旧「船橋そごう」の土地・建物を取得、改装。専門店街機能を強化。
2003 年	「ららぽーと1」リニューアル 平日強化を狙い、主婦層へのアプローチ強化。 キッズゾーンの再編などを主眼に置き、店舗構成を5つのゾーンへ。
2004 年	「ららぽーとウエスト」リニューアル 大規模改装し、インテリア、ペット、家電量販店等の大型専門店を導入。
2005 年	「ららぽーとイースト」リニューアル 旧「ダイエー」棟を改装し、カテゴリーキラー、フードテーマパークなどを導入。
2006 年	「ららぽーと1」一部リニューアル アパレル、雑貨、飲食店等からなるガールズ専門店ゾーン「CANDY DRIVE」を導入。
2008 年	「ららぽーと2」建替え・リニューアル トレンド発信できる高感度・上質な都市型店舗を集積させ、従来とは一線を画した店舗構成に。新店の半分以上が千葉県初出店。
2013 年 3 月	「北館」一部リニューアル ティーンエイジャー向け女性ファッション誌「Popteen」とコラボレーションしたアパレル、雑貨、飲食店からなる専門店ゾーン「LaLa Popteen Land」を設け、トレンド発信力を強化。
2013 年 11 月 22 日	『Next Stage 計画』第一弾。「西館」建替え開業 デイリーニーズやファミリーニーズに応え、施設全体での「One Stop Shopping」を実現するとともに、回遊性の高いモール形状とし、より楽しく、より利便性の高い施設へと進化。
2014 年 3 月 14 日～	『Next Stage 計画』第二弾。「南館」「北館」リニューアル 高感度ファッション・都市型ブランドの集積をさらに強化。
2014 年 6 月 25 日	『Next Stage 計画』完了。「南館」シネマコンプレックス跡リニューアル ファッションを中心に様々なトレンドを発信するゾーン『トレンドスクエア』オープン。
2015 年 3 月 13 日	「北館」リニューアル 食を中心としたリニューアル「フードイノベーション 2015」第一弾として、フードコートリニューアル。あわせて、エンターテインメントを強化。
2015 年 11 月 19 日	秋のリニューアル 春に続くリニューアル第二弾として、「飲食」「エンターテインメント」ならびに「ファッション」を強化。
2019 年 3 月 15 日	春のリニューアル ポップアップショップをはじめ、さらにバラエティ豊かな店舗が集結。また、南船橋駅高架下への「動く歩道」の設置や駐車場の増設など、利便性を強化。

<添付資料 4>

三井不動産のリージョナル型ショッピングセンター(2019 年 6 月現在)

埼玉

- 三井ショッピングパーク ららぽーと新三郷
- 三井ショッピングパーク ららぽーと富士見

静岡

- 三井ショッピングパーク ららぽーと磐田
- 三井ショッピングパーク ららぽーと沼津
2019 年 10 月 4 日(金) グランドオープン

愛知

- 三井ショッピングパーク
ららぽーと名古屋みなとアクルス
- (仮称) 三井ショッピングパーク
ららぽーと愛知東郷町

広島

- 三井ショッピングパーク アルパーク

兵庫

- 三井ショッピングパーク ららぽーと甲子園

大阪

- 三井ショッピングパーク ららぽーと和泉
- 三井ショッピングパーク ららぽーと EXPOCITY

東京

- 三井ショッピングパーク アーバンドック ららぽーと豊洲
- ダイバーシティ東京プラザ
- 三井ショッピングパーク ららぽーと立川立飛

千葉

- 三井ショッピングパーク ららぽーと TOKYO-BAY
- 三井ショッピングパーク ららぽーと柏の葉

神奈川

- 三井ショッピングパーク ラゾーナ川崎プラザ
- 三井ショッピングパーク ららぽーと横浜
- 三井ショッピングパーク ららぽーと海老名
- 三井ショッピングパーク ららぽーと湘南平塚

海外

- (仮称) 三井ショッピングパーク ららぽーと上海金橋
- (仮称) 三井ショッピングパーク ららぽーと台湾南港
- (仮称) 三井ショッピングパーク ららぽーとクアラルンプール
- (仮称) 三井ショッピングパーク ららぽーと台中